

令和6年度宮城県刑務所出所者等就労・定着ネットワーク事業「リ・トライ！」

第2回プログラム実施報告書

1. 開催日時： 2024年7月20日（土） 14:00～16:15
2. プログラム： 協力雇用主・職親企業との対話「職場の中で働くことの難しさとやりがいを知る」
3. 参加者； 受講者：7名、講師：1名、スタッフ：2名
4. プログラムの主な講話の内容
 - ① 講師自己紹介
高校卒業後から現在の職場に至るまでの経歴と経験をお話いただいた。
 - ② 職場紹介と職場の特徴について：
農福連携、中間的就労支援、農村留学プログラム、人材育成研修およびスタディツアーなどプロジェクトを展開中。その特徴について説明頂いた。
 - ③ 少年院との関わり、及び協力雇用主として受け入れしてみよう
東北少年院、青葉女子学園と連携し農作業受入れを行ったことから、少年院から相談、受け入れに至った。受け入れた出院者は、ギャンブル依存の傾向があり、そのお金欲しさから窃盗で入院。
 - ④ 職場の中で働く事の難しさとやりがいについて・雇用主と当事者の視点から
仕事の内容によって、個人差があり、向き・不向きがあること(就労支援を行う上で、無理なく働く環境を提供しているが、体力面や集中力に不安があり苦労していた様子)。また、職場内での情報共有の仕方に難しさがある。(誰がどこまで知っているのかなど、本人の理解度によっては不安材料となる。)
一方、本人は、働く人の多くは年齢が離れていて会話がしづらかったことや、工業出身で職種が異なったため定着が難しかった。
やりがいについては、農作物の収穫まで関わることで、しっかり仕事ができているんだ、と感じることができた。加工し製品を作る、さらに販売まで行けたことは達成感があった。
5. 参加者の感想(受講後アンケートより)
 - ① サッカーのお話し、色々聞けて学べてよかったです。
 - ② 今まで経験の無い職業の話を聞けて良かった。
 - ③ 様々な職種で支援が受けられる事が知れて良かった。
 - ④ 個人的に農業に興味があったので、貴重なお話しをきかせて頂き有難うございました。
 - ⑤ 是非機会がありましたら、体験させて頂ければと思います。
 - ⑥ 講師の方の経歴を聞いた時、様々な経験をした方が色々な仕事につながるのだと思いました。
 - ⑦ 協力雇用主の存在を知ることができた。
 - ⑧ イシノマキ・ファームの体験プログラムに興味あり。6次化に興味あり。(適正があるかどうかを体験したい)
6. 全体を通して
第1回同様、終始和やかな空間となったと感じる。講話に対する質問は、やや消極的だったが、受講者全員に対し均等に指名することで、みんなが質問や感想を述べていた。その内容も、講師の経歴に関することや会社の仕事のこと、協力雇用主になった理由など、様々な発言があり、きっと講師を含め同じ空間にいた参加者全員が、何かしらの“気づきを得た”と思う。

以上